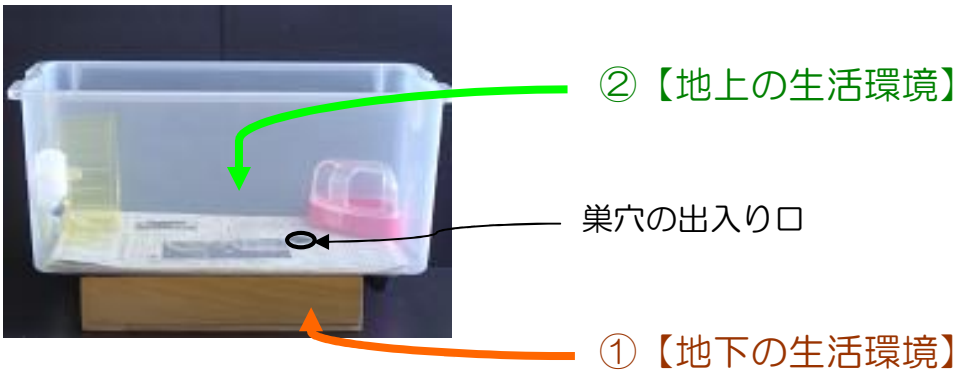
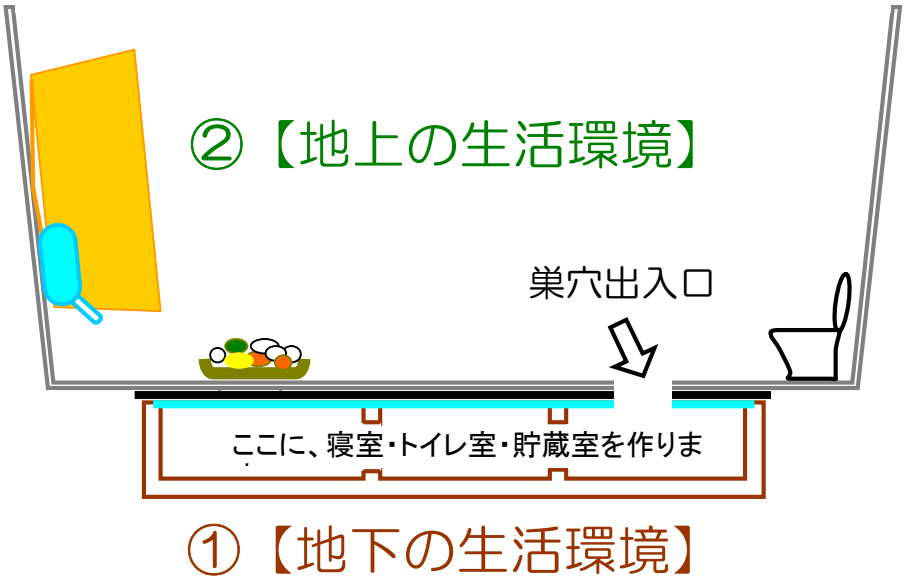
『地下型の巣箱』が自信を持ってお薦めする、飼育セットの基本形

Ⅰ．ハムスターに必要な二つの生活環境

ハムスターは、地下の巣穴に生息する動物です。
巣穴の生活をするために、【地下の生活環境】はハムスターに不可欠です。





①【地下の生活環境】

ハムスターが【地下の生活環境】で行う、巣の中の３大習性

1．自分で『寝室』を決め、寝床を作って、安眠・熟睡する。
2．トイレ室を決め、巣穴の清潔を保つ。
3．頬袋を使って、食べ物を集めて貯蔵する。

これが出来るハムスターは、活き活きとして健康に育ちます。
母ハムスターにとっては、安心して出産と育児ができる最高の環境です。

≪【地下の生活環境】が飼育環境によるストレスを軽減し解消します≫

●ハムスターは、地下の巣穴に生息する動物です。

●ハムスターが【地上の生活環境】にいるときは、とても緊張して、ストレスのある状態にいます。

●自然界では地上は、敵に襲われて食べられてしまう危険な場所だからで、警戒本能が自動的に働いてしまうからです。

●【地下の生活環境】が無い、【地上の生活環境】だけの飼育ケースでは、地上のストレスが次第にハムスターの身体に蓄積します。

②【地上の生活環境】

1．食べ物を集める。
2．水を飲む。
3．オシッコをする。
4．運動（回し車）する。
5．そして、縄張りを主張する。

ハムスターが地上で行うことを、ここで出来るようにしてあげます。
ここは、飼い主とコミュニケーションをとるためにも、大切な場所です。

≪この飼育セットは、ハムスターの心を安定させることが出来ます≫

●巣穴【地下の生活環境】の中は、安全で安心できるハムスター自身の聖域になります。

●『自分の家』を持ったハムスターは、活き活きと健康に育ちます。

●ストレスから開放されて心に余裕ができると、もともと備えている強い好奇心が出てきて、飼い主に興味を持ち始め、巣穴から飼い主の様子をうかがうようになります。

●このときから、ハムスターと飼い主との対等のコミュニケーションが始まります。ハムスターが、好奇心がとても強く、賢い動物であることを実感することができます。

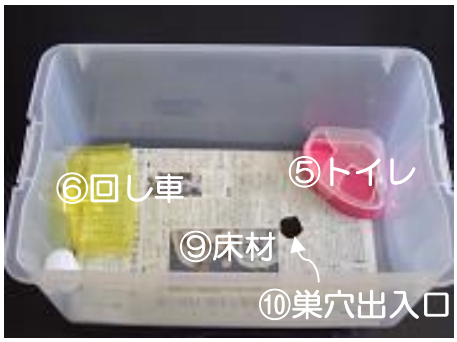
≪この飼育セットで育つハムスターはとても良く慣れます≫

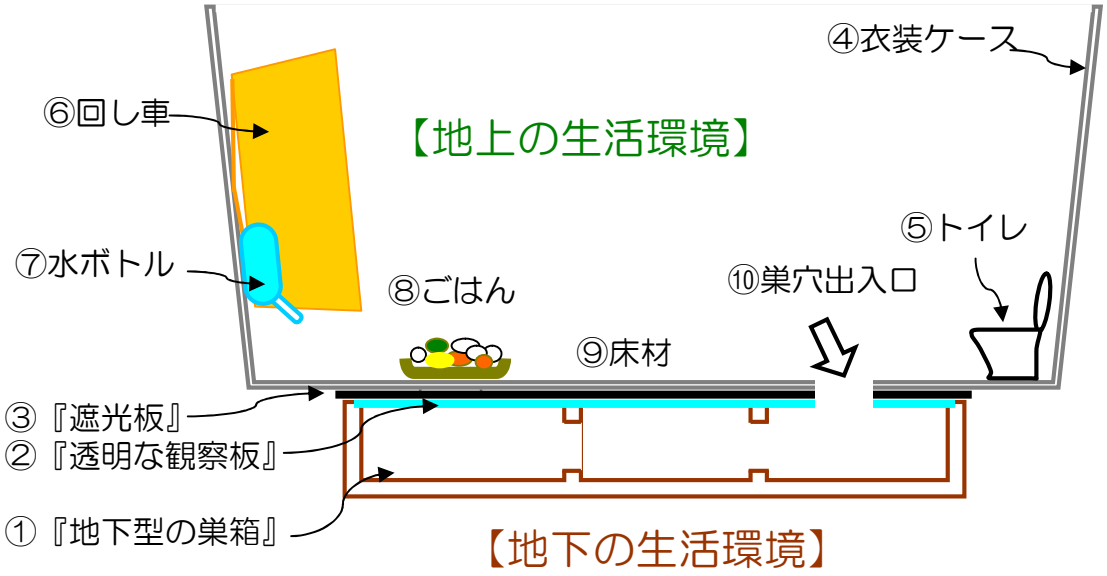
●ハムスターは、人とコミュニケーションをとることが出来る、哺乳類として最も小さいペットです。

●犬のように訓練することは出来ないでしょうが、良い環境で育ててあげると、呼べば巣穴から出てくるなど、とても良く慣れます。

●ハムスターを飼育する楽しさがこのときから倍増します。

Ⅱ．飼育セット各部の説明





【地下の生活環境】

①『地下型の巣箱』：ハムスターの家です。ハムスターにとって無くてはならない場所です。必須のアイテムです。

②『透明な観察板』：家の中で生活するハムスターの自然な姿を、ハムスターを怖がらせること無く観察するための透明版です。

ハムスターの健康チェックのためにも、巣の中の表情を観察することは大切なことです。観察することが、可愛く飼育する基本であると『地下型の巣箱』は考えています。

詳しくは、ホームページの『地下型の巣箱』の取扱説明書の１０．≪観察=透明な観察板と遮光板≫を参考にしてください。

③『遮光板』：巣の中を観察するときに、そっとめくります。観察しない時は、家の中を暗くしてあげます。

厚手の布、厚紙などで作ります。巣穴の出入口用の穴を開けます。

【地上の生活環境】

④ 衣装ケース：衣装ケースは広い活動スペースを確保することが出来ます。上部が広く開いているので通気の心配はありません。

⑤ トイレ：野外トイレです。当セットでは、砂浴びも兼ねています。ハムスターは砂浴びが大好きです。むしろ、砂浴びは必需品です。

⑥ 回し車：必需品です。当セットのように、衣装ケースに直接取り付けると、活動スペースを広くする効果があります。

⑦ 水ボトル：水は毎日取り替えてあげましょう。ハムスター専用の小型ボトルがあります。ボトルは左右どちらにも取り付けられます。水を飲む様子を観察できます。

⑧ 食べ物入れ：市販品がありますが、ここは、飼い主の気持ちを込めて、楽しい器をプレゼントすることをお勧めします。ここからコミュニケーションの始まりです。

⑨ 床材：新聞紙をお薦めします。毎日取り替えることで清潔を保てます。巣穴の出入口の穴を開けてください。

⑩ 巣穴出入口：**≪最重要≫**

この出入口が、ハムスターの健康にとってとても大切な働きをします。

そして、この飼育セットのとても優れた部分の一つでもあります。

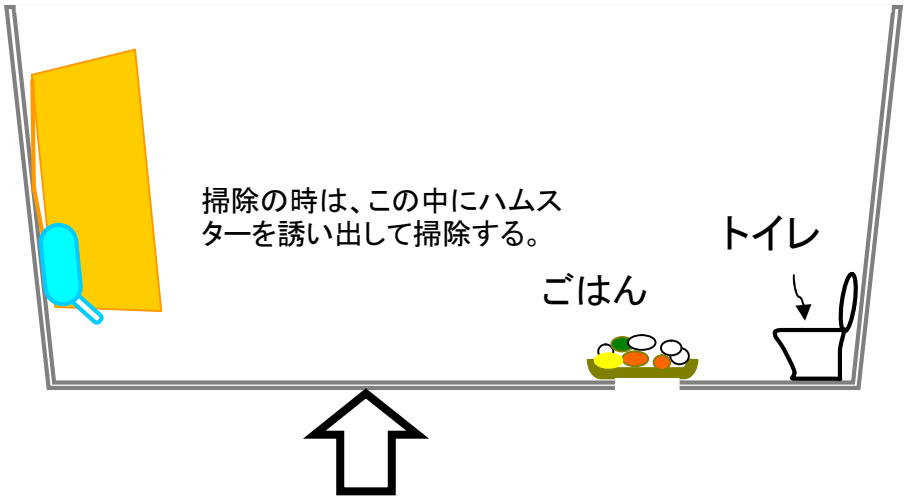
ハムスターが地上にいるとき、警戒心はピークになっています。警戒心のピークが続けば、ストレスとなり、蓄積すれば健康を害します。

巣穴が無い飼育セットで危険を感じると、パニックを起こすことは、実験で分かっています。

このように、安全安心の巣穴がすぐ近くにあることによって、危険を感じたら、すばやく安全な巣穴に避難できる、という安心感をハムスターに持たせることが出来ます。ストレスを取り除いてあげたハムスターはとても健康に育ちます。

飼い主に対するハムスターの気持ちを、この穴の使い方で、推し量ることができます。怖がっていれば巣の奥から出てきません。好奇心があれば出入口の内側で様子伺いをします。慣れて安心していれば、出てきます。

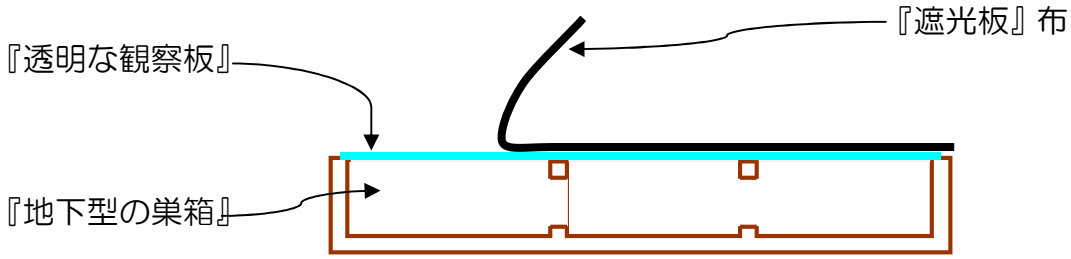
Ⅲ．観察と掃除



観察の時と、掃除の時は飼育ケースを持ち上げて、取り除きます。

観察

巣の中の生活を観察する時は、飼育ケースを持ち上げて、『遮光板』をメクって『透明な観察板』越しに観察します。



『地下型の巣箱』の中にハムスターが居るときに、『透明な観察板』を絶対に開けないでください。

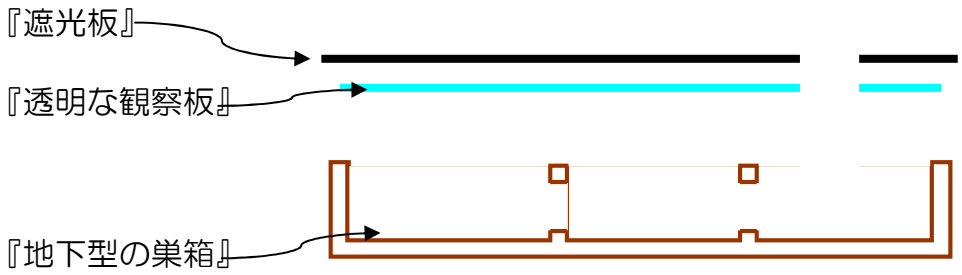
開ければ侵入です。巣の中が安全でないことを学習してしまうと、自然な姿を観察できなくなります。

さらに、『地下型の巣箱』そのものを嫌いになってしまう場合もあります。

観察はハムスターの飼育にとって、極めて重要です。
観察することによって、しぐさや表情から、健康状態を知ることが出来るようになるからです。コミュニケーションも、しぐさや表情の観察が基本です。

掃除

『地下型の巣箱』を掃除する時は、衣装ケースにハムスターを誘い出してから行います。ご飯入れかトイレで巣穴を塞いで、ハムスターが巣穴から落ちないようにしてから、衣装ケースを持ち上げます。『透明な観察板』をはずして掃除します。

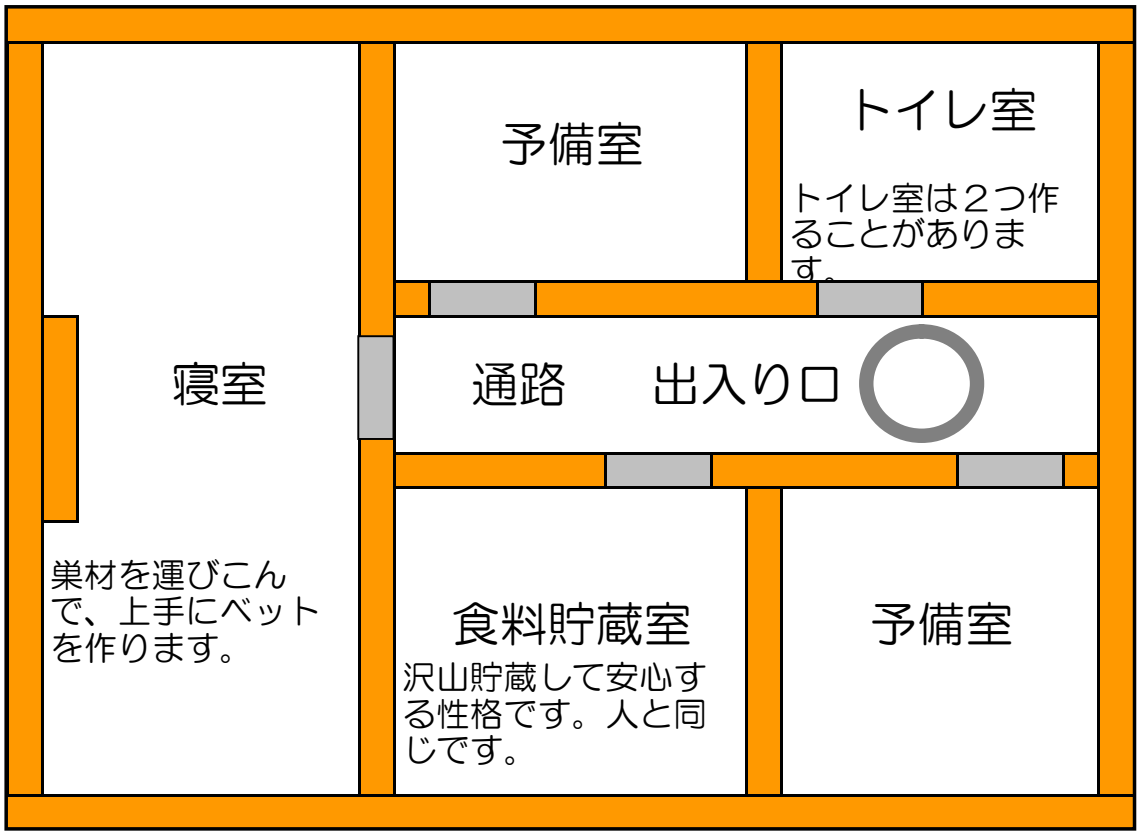


『地下型の巣箱』の中にハムスターが居るときに、『透明な観察板』を絶対に開けないでください。

Ⅳ．ハムスターは、地下の複数の部屋をとても上手に使い分けます。

ハムスターの『地下型の巣箱』の部屋割の例

ハムスターは自分の好みで、寝室とトイレ室と食糧貯蔵室を決めます。決め方はハムスターによって様々です。



寝室

　入り口から距離がある、一番大きいこの部屋を寝室に選ぶ場合が多いです。この『地下型の巣箱』をもらったハムスターは、寝室にする部屋を決めると、早速巣材を探しに外に出ます。気に入った巣材を持ち帰って、ここに寝床を作ります。このときのために、色々な巣材を外に置いてあげます。ティッシュを細く裂いたものは巣材の定番です。

トイレ室
　寝室ができると次にトイレ室を決めます。トイレ室はあらかじめ飼育者が決めて今まで使用していたトイレ砂などを入れておく場合と、ハムスターが新たに決めたところにトイレ砂などを入れる二つの方法があります。前者で簡単に決まる場合もあります。詳しくはホームページの　『地下型の巣箱』のトイレ室の決め方　などを参照してください。

食料貯蔵室
　貯蔵はハムスターの巣の中の三大習性の一つです。頬袋を使わせて上げます。
 食べ物を山盛りに貯蔵して安心するのは、人と同じです。貯蔵した食料に一緒に糞が混じることがありますが、糞食と言う習性で、糞に残った栄養分を再吸収するシステムです。

　寝床の作り方など、誰にも教えてもらえなかった子供のハムスターが、『地下型の巣箱』の一部屋に立派な寝室を作り上げるのを観察するのは、感動です。